



令和4年度



企業シャトルBaaS

社会実験事業

報告書

豊橋市地域公共交通
活性化推進協議会

目次

- 01. はじめに
- 02. 概要
- 03. 利用状況
- 04. 周知方法
- 05. 地域の受容性
- 06. 令和4年度まとめ
- 07. 今後の予定



01. はじめに



(1) 背景

令和元年度までに、谷川校区の住民から、本市や湖西市に対し、新所原駅と接続するコミュニティバス等の運行を要望する声があった。

一方、令和2年度に、湖西市はスマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域に選定され、湖西市内の企業4社の協力のもと、企業の従業員送迎用シャトルバスを活用して、市民と従業員が混乗できる実証実験を開始した。



豊橋市都市交通計画では、公共交通の利便性向上としてMaaSなど新たなモビリティサービスの推進をしていることから、湖西市の実証実験と連携することで、地域の受容性を見極めながら、地元住民の新しい移動手段としての可能性を探ることとした。まず、令和4年度は、湖西市が実証実験を行っている企業のうちの1社である(株)デンソーのシャトルバスを豊橋市雲谷町、中原町、原町まで延伸し、県境を跨ぐルートを試行的に運行する社会実験を行った。

なお、この社会実験を行うにあたり、本市からの申し出を快く引き受けていただいた(株)デンソー湖西製作所及び豊橋東製作所並びに(株)デンソーユニティに、この場を借りてお礼申し上げます。

(2) 目的

①交通結節点へのアクセス性の向上

県境を跨いで新所原駅へ移動することを可能にし、乗換え機能の強化や周辺施設への利便性向上を図る。

②企業のシャトルバスを地域移動資源として活用

移動手段の確保に向けて企業のシャトルバスを利用可能な地域資源として活用し、ルート上に停留所を設置する。

③アンケート調査等による移動需要の検証

利用者数のデータ収集や社会実験地区、協力企業及び交通事業者へのアンケートを通じ、住民の移動需要や地域の受容性などを検証する。



BaaS（バス）とは…

「Bus（バス）」と、様々な移動手段をシームレスにつなぐ概念「MaaS（マース：Mobility as a Service）」を掛け合わせた造語です。

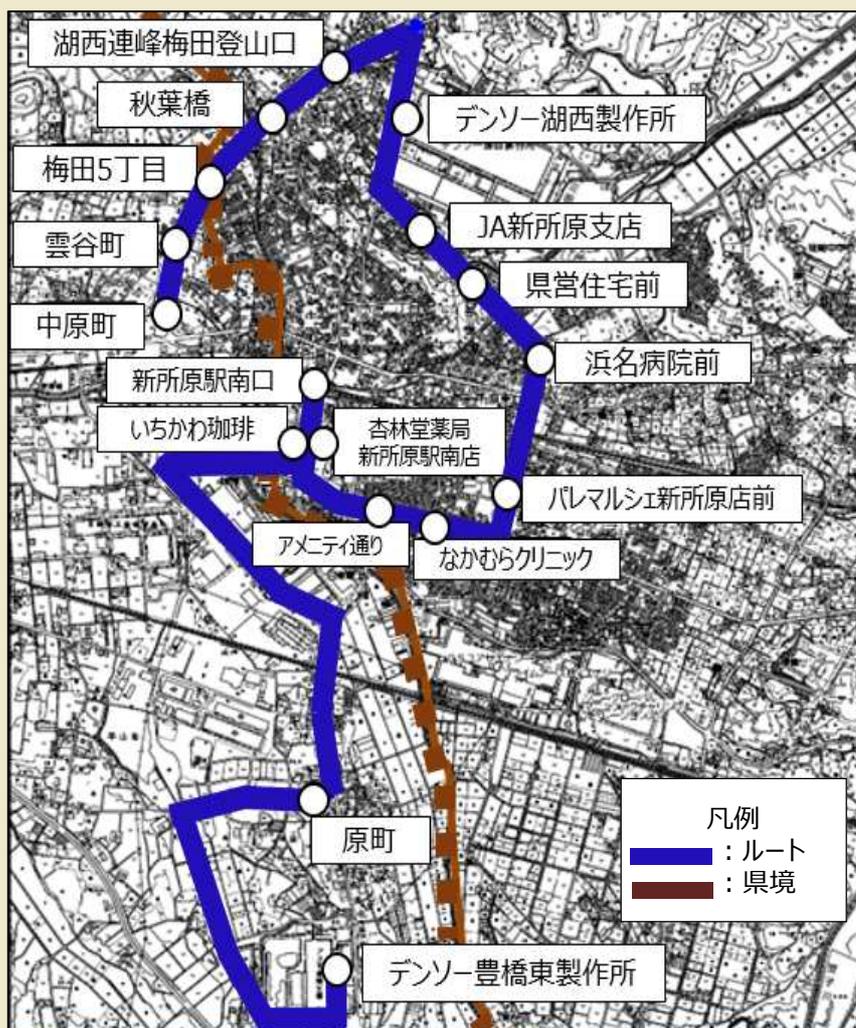
02. 概要

(1) 実施内容

豊橋市は、湖西市及び(株)デンソーと連携し、(株)デンソーが運行するシャトルバスを周辺住民も利用できる新しい移動手段「企業シャトルBaaS」として社会実験を実施した。

本実験により、県境・市境に近い市民に対する利便性の向上を図り、交通結節点である新所原駅や周辺商業施設等への移動需要、また市内交通ネットワークへの影響を調査・検証する。

- ①期 間：令和4年8月1日～令和5年1月31日
- ②協力企業：デンソー湖西製作所・豊橋東製作所
- ③ル ー ト：下図
- ④運 賃：次ページ
- ⑤時 刻 表：次ページ
- ⑥乗車方法：利用登録申請後、乗車日の前日17時までに湖西市都市計画課へ電話または湖西市公式LINEで予約



■運賃

販売場所：湖西市都市計画課 窓口（庁舎2階）

月	回数券	定期券	
		1ヶ月	2ヶ月
8月～9月	モニター制度	—	—
10月～11月	1枚200円	3,000円	6,000円
12月～1月		1,000円	2,000円

■時刻表

■デンソー豊橋東製作所行き

乗降場所	第1便	第2便	第3便
中原町	9:30	10:30	11:30
雲谷町	9:31	10:31	11:31
梅田5丁目	9:32	10:32	11:32
秋葉橋	9:33	10:33	11:33
湖西連峰梅田登山口	9:34	10:34	11:34
デンソー湖西製作所★	9:35	10:35	11:35
JA新所原支店	9:36	10:36	11:36
県営住宅前	9:36	10:36	11:36
浜名病院前	9:37	10:37	11:37
パレマルシェ新所原店前	9:38	10:38	11:38
なかむらクリニック	9:39	10:39	11:39
アメニティ通り	9:40	10:40	11:40
いちかわ珈琲	9:40	10:40	11:40
新所原駅南口★	9:41	10:41	11:41
杏林堂薬局新所原駅南店	9:42	10:42	11:42
原町	9:47	10:47	11:47
デンソー豊橋東製作所	9:52	10:52	11:52

■デンソー湖西製作所行き

乗降場所	第1便	第2便	第3便
デンソー豊橋東製作所★	10:00	11:00	12:00
原町	10:05	11:05	12:05
いちかわ珈琲	10:10	11:10	12:10
新所原駅南口★	10:11	11:11	12:11
杏林堂薬局新所原駅南店	10:12	11:12	12:12
アメニティ通り	10:12	11:12	12:12
なかむらクリニック	10:13	11:13	12:13
パレマルシェ新所原店前	10:14	11:14	12:14
浜名病院前	10:15	11:15	12:15
県営住宅前	10:16	11:16	12:16
JA新所原支店	10:16	11:16	12:16
デンソー湖西製作所	10:17	11:17	12:17
湖西連峰梅田登山口	10:18	11:18	12:18
秋葉橋	10:19	11:19	12:19
梅田5丁目	10:21	11:21	12:21
雲谷町	10:23	11:23	12:23
中原町	10:25	11:25	12:25

※★のダイヤは固定です。そのほかは、5分程度前後する場合があります。

■豊橋市内の新規バス停位置

中原町バス停



▲新所原駅方面行き（始点）



▲中原町行き（終点）

雲谷町バス停



▲新所原駅方面行き



▲中原町行き

原町バス停



▲新所原駅方面行き



▲デンソー豊橋東製作所行き

03. 利用状況

(1) 登録者数

市名		人数	割合
湖西市		130	57.8%
豊橋市		39	17.3%
内 訳	原町	18	—
	中原町	5	—
	雲谷町	4	—
	その他の町	4	—
	その他（関係者）	8	—
その他市町村（関係者）		56	24.9%
合計		225	100%

豊橋市民のうち、主に谷川校区内の原町、中原町、雲谷町の方にご登録いただいた。

(2) 延べ利用者数

市名	月別（延べ）						合計
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
湖西市	99	45	0	10	1	3	158
豊橋市	29	21	23	32	22	20	147
その他市町村・関係者	12	10	1	2	0	0	25
合計	140	76	24	44	23	23	330

運行日110日間で延べ利用者数は330人。豊橋市では、月平均24.5人であり、週に2～3回定期的に買い物で利用される方がいた。



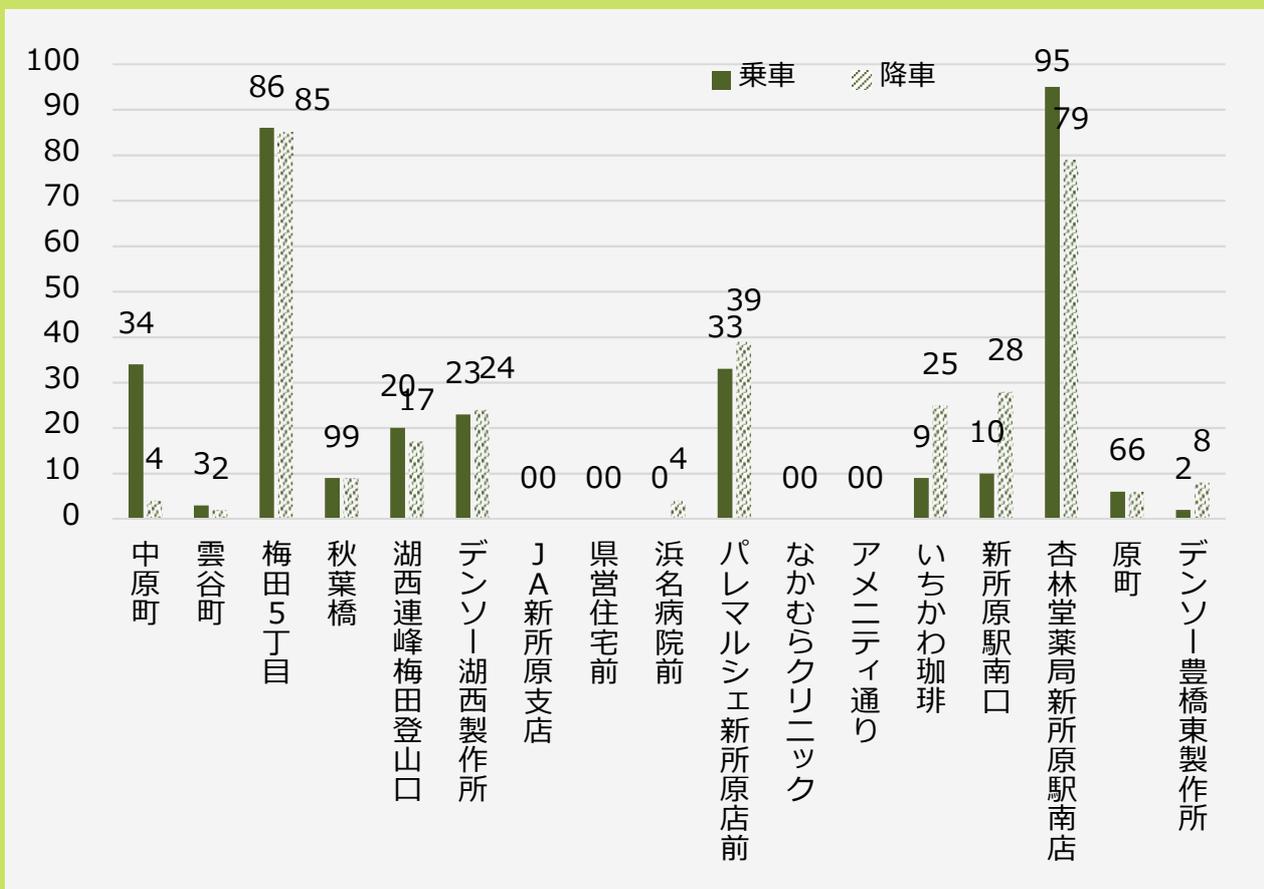


(3) 乗車券の販売状況

市名		湖西市民	豊橋市民
回数券		56枚(9人購入)	33枚(5人購入)
定期券	10月券	—	—
	10月～11月券	—	1枚
	12月券	—	1枚
	12月～1月券	—	1枚

12月から定期券を減額したが、購入数に変化はなかった。

(4) バス停別延べ乗降者数



買い物利用による「パレマルシェ新所原店前」や「杏林堂薬局新所原駅南店」での乗降が多かった。



04. 周知活動



対面による直接説明

- ・ 7月… 3町（原町、中原町、雲谷町）住民への事業説明会の実施 —①
- ・ 8月～9月… 3町自治会長への利活用促進の依頼
- ・ 12月… 3町自治会役員への利活用促進の依頼



①



広報

- ・ 8月… 広報とよはし 8月号への掲載
- ・ 8月… 報道発表
- ・ 8月… 両市長による試乗 —②
- ・ 8月… PR TIMESへの掲載 —③
- ・ 8月… FMとよはしでの放送
- ・ 10月… 利用促進チラシ（回数券、定期券、クーポンのお知らせ）の配布 —④
- ・ 11月… 杏林堂薬局と協力した利用促進企画のチラシ配布 —⑤
- ・ 12月… 利用促進チラシ（運賃改定、モデルコースの紹介）の配布



②



④

⑤



③ PR TIMESの記事を閲覧できます



杏林堂薬局と協力した利用促進企画

杏林堂薬局が企画するイベント日に合わせ、園芸に興味のある利用者がBaaSに乗車する機会を創出。原町2名、中原町1名の利用があった。—⑥



⑥



05. 地域の受容性

(1) 地元住民の受容性

① 豊橋市民登録者・利用者アンケートの実施

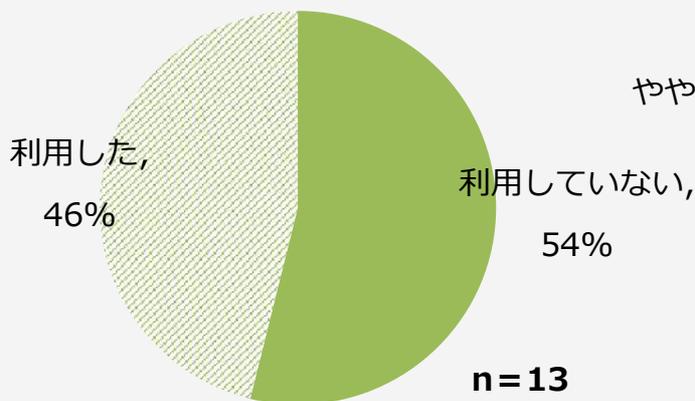
企業シャトルBaaSに登録または利用した豊橋市民に対し、実験期間2ヶ月が過ぎた9月末にアンケートを実施した。



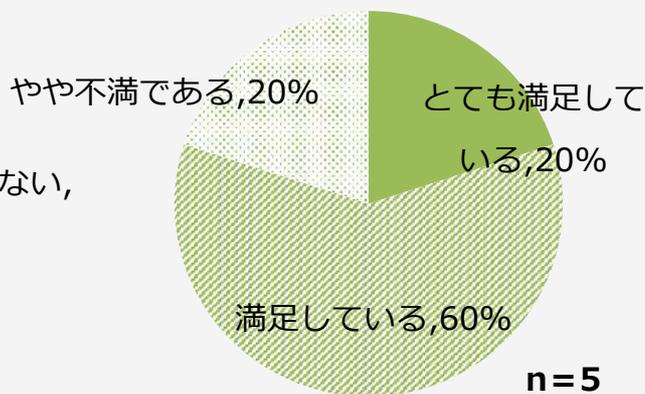
① 豊橋市民登録者・利用者 中間アンケート結果

配布数：28枚 回収数：13枚 回収率：46.4%

(1) 利用の有無



(2) 利用者の満足度



(1-1) 利用回数と、その際の目的地

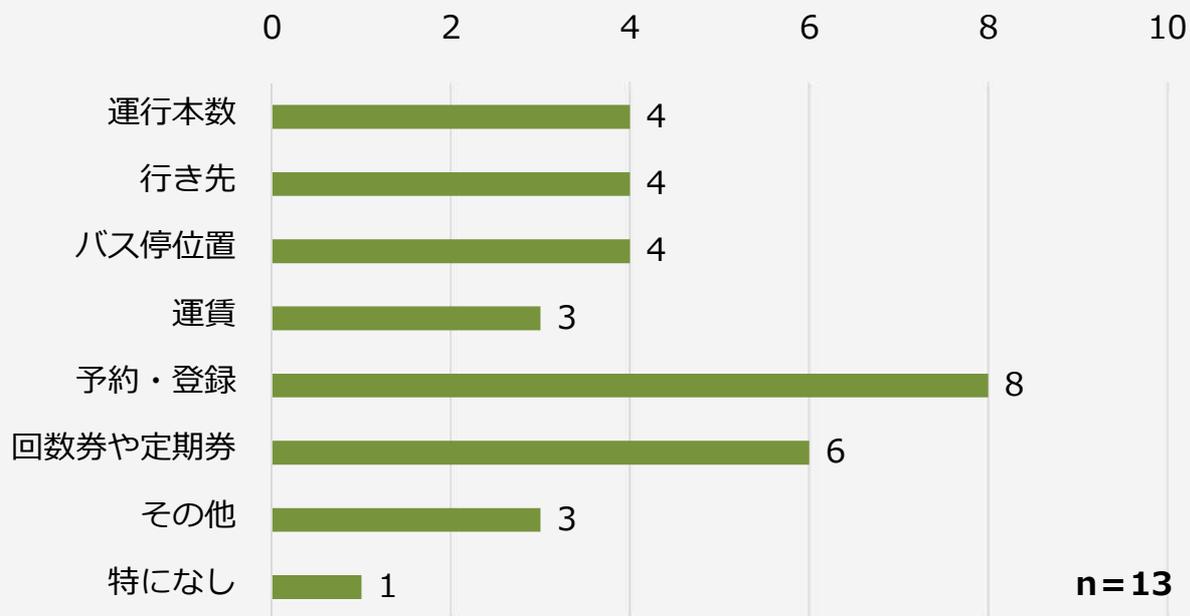
目的	頻度	人数
通院	—	0
買い物	週1回	1
	週6回	1
	月2回	1
食事	—	0
娯楽	週2回	1
	月2回	1
その他	週1回	1
	月1回	1
	月2回	1

- 買い物
 - ・杏林堂
 - ・パレマルシェ
 - ・コメリ
- 娯楽
 - ・普門寺 (かざぐるま祭り)
 - ・新所原駅南口
- その他
 - ・駅までの利用
 - ・中原町～新所原駅
 - ・新所原駅南口

05. 地域の受容性

① 豊橋市民登録者・利用者 中間アンケート結果

(3) 改善した方が良いと思う点を3つ選んでください。



(3-1) 改善した方がいいと思う具体的なお意見（一部抜粋）

項目	意見
運行本数	午後にも運行があれば利用するようになるかも。
行き先	中原町を終点とせず、中原町から新所原駅北口へ運行してほしい。 中原町～新所原駅南口が歩くのと同じ時間。
バス停の位置	各町の公民館
運賃	2～3kmの距離で200円とは高い。
予約・登録	回数券を持っていれば、予約なしでも乗れると助かる。 いつでもだれでも自由に乗れるがいいと思います
回数券や定期券	校区市民館とかで買えると助かる。湖西市役所まで行くのが大変。 現金払いに対応してほしい
その他	新所原駅を利用した場合に、名古屋、浜松へ出掛けても帰りに利用することができない。





① 豊橋市民登録者・利用者 中間アンケート結果

(4) 普段のお出かけの際の、主な目的地と外出時刻、移動手段

■ 目的地 (詳細な施設名は省略)

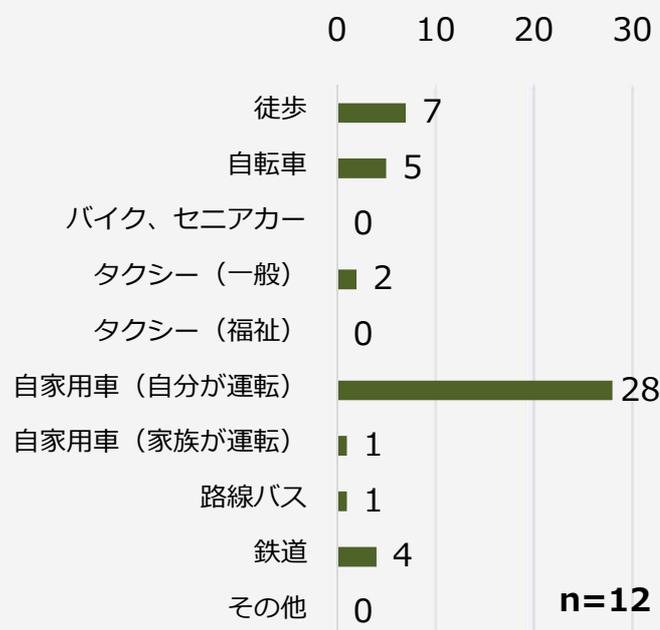


■ 外出時刻

時刻	回答数	時刻	回答数
7時台	3	13時台	3
8時台	5	14時台	1
9時台	5	15時台	2
10時台	4	16時台	2
11時台	2	17時台	1
12時台	3	18時台	0
AM	1	19時台	1

午前…69.7% 午後…30.3%

■ 移動手段



考察

利用者の満足度は高いものの、そもそもの利用者が少ない。

そのため、本アンケート実施後、特に利用の少なかった原町を中心に利活用推進の依頼を行った。

また、改善要望としては、運行本数、バス停の位置、予約・登録方法、回数券等の販売場所の見直しを希望する声が多く、湖西市及びデンソーへ情報共有し、来年度の実験継続の際の検討材料とする。

なお、現在の谷川校区住民の移動は二川方面と湖西方面、両方面への需要があるといえる。自家用車の利用が主である地元住民に対し、BaaSやコミュニティバスの運行など今後の移動手段の選択肢について共に考える必要がある。

05. 地域の受容性

②谷川校区住民へアンケートの実施

企業シャトルBaaSの利用の有無にかかわらず、中原町、原町、雲谷町の谷川校区住民に対し、実験期間終了後の1月末～2月にかけてアンケートを実施した。



②谷川校区住民へのアンケート結果

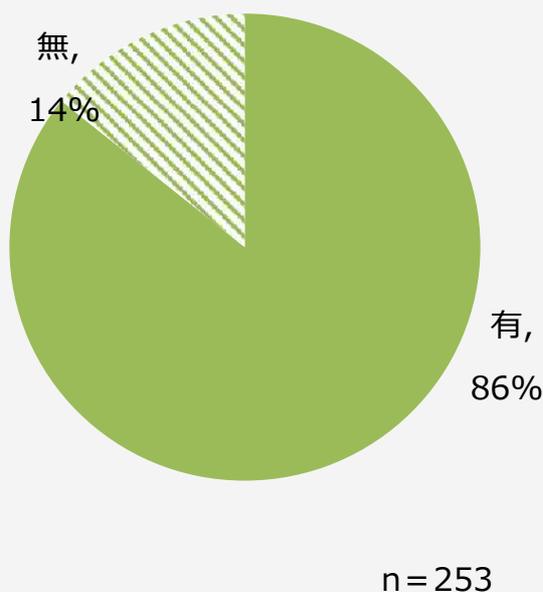
■配布・回収数の内訳

校区名	町名	回収結果		
		回収数	配布数	回収率
谷川	中原	187	304	61.5%
	原	66	110	60.0%
	雲谷	50	110	45.5%
	全体	303	524	57.8%

■回答者の年代



■回答者の免許の有無

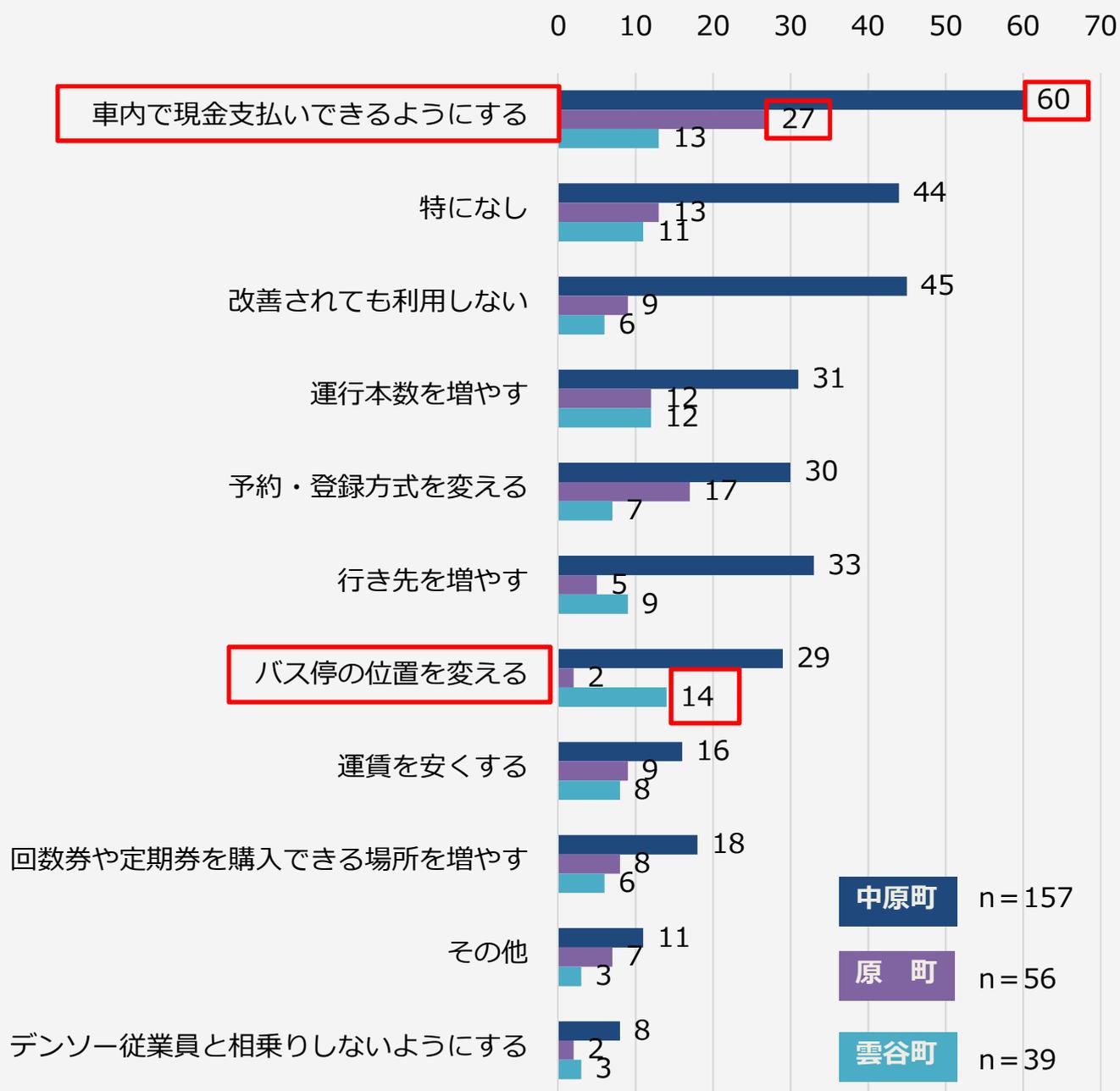


回答者の年代は70代が最も多く、運転免許証の保有率は約8割である。



②谷川校区住民へのアンケート結果

(1) 企業シャトルBaaSで改善してほしい点（複数回答可）



中原町、原町は、現金支払いへの要望が一番多いが、雲谷町はバス停位置そのものの変更要望が高い。

今年度のバス停が雲谷町をかすめる位置にあったため、地元住民にとって雲谷町を通っているという認識が低いと考えられる。

05. 地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

(1) 企業シャトルBaaSで改善してほしい点

◆希望の運行時間帯

希望時間	人数	希望時間	人数
7時	3	15時	10
8時	4	16時	6
9時	4	17時	1
10時	7	夕方	2
12時	3	午後	5
13時	8	デンソーの夜勤出勤	1
14時	7	毎時	1

◆予約・登録方式の代替案

予約・登録方式の代替案
予約・登録なしでも利用できるとうれしい。
バス停で待てば乗れる（スマホ等年配者困難）
定期的に走らす
予約・登録方式の認知度を上げるために、小さなお子様のいる家庭やご高齢の方へ向けて講習会を定期的に実施する。
チケットを持っていて停留場に待てば乗れるようにしてほしい。予約しても用ができて変更することもあったので。

運行希望時間帯は、午後の要望も多い。

「予約・登録は不要にしてほしい」という意見も多数みられた。

回数券を販売した数が把握できれば、乗車予定人数もある程度分かるため、予約なしの運用も来年度以降の検討課題としたい。



②谷川校区住民へのアンケート結果

(1) 企業シャトルBaaSで改善してほしい点

◆希望の回数券・定期券販売場所

※ 2件以上のみ記載

希望の回数券・定期券販売場所	人数
コンビニ	7
杏林堂	2
谷川校区市民館	2
市民館	2
今の場所がわからない	2
デンソー湖西製作所事務所 デンソー豊橋東製作所事務所	2

◆希望の運賃

※ 2件以上のみ記載

希望の運賃	人数
100円	21
200円	2

◆希望の目的地

※ 4件以上のみ記載

希望の目的地	人数
二川駅	7
JA豊橋Aコープ 産直プラザ二川	7
二川方面	6
たつみストアー	4

◆希望のバス停位置

※ 3件以上のみ記載

希望のバス停位置	人数
各町公民館など	9
中原町公民館	8
雲谷町公民館	7

回数券・定期券の販売場所の希望としては、自宅最寄りの施設やBaaS停留所付近の施設が多い。

希望の目的地は、特に中原町民を中心に、二川方面への希望が多い。

希望の運賃は1区間100円の声が多い。現在、徒歩で移動できている方も多く、往復400円と考えると高く感じる模様。

希望のバス停位置は、各町の公民館への声が多数。

05. 地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

(1) 企業シャトルBaaSで改善してほしい点

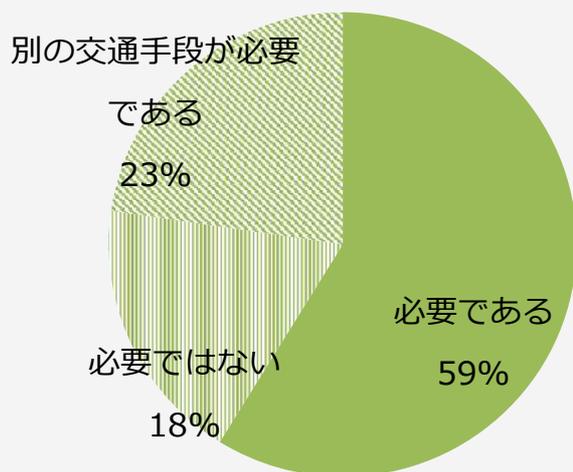
◆その他意見（一部抜粋）

中原町	ルートを環状に、右回り・左回りにする
	年配の方でも簡単に利用できたらいいと思います。
	一部の道路しか通らないのでそこまで行くのが大変、利用しにくい
	PR不足では？利用状況や利用者の感想を公開してはどうか？
	目的地に対して遠回りになるのが不便
	現在は自分で車を使っていますが、この先は利用するかもしれません。
	電子マネー、プリペイドカードなどの利用ができればよい
	市役所は土日休みなので車運転できないから平日子供たち仕事だし行ってもらえない
	将来バス停を増やしてほしい
市のバスが中原町までくるようにすることが解決案だと思う	
原町	一人では乗りにくいようです。老人には予約が難しいようなので、バス停に人がいれば乗せてもらう形のほうが利用しやすいようです。
	現状に必要な方に情報が届くような工夫を。回覧でわかりやすいプリントを配る。包括支援センターにも配布し、ケアマネ経由にて情報を出す。老人施設（デイケア）にも情報提供し、使い方を教えてあげられるとよいと思います（湖西、豊橋）。コーちゃんバス（湖西市）市外の人には使えないのかな？連携できたらいいなと思います。
雲谷町	現在の雲谷のバス停では、利用したくても利用できない。家からバス停まで遠すぎる。バス停が解決すれば、利用したい（一番の問題点です）。
	今年に返納する予定だが、その後の移動手段がタクシーだけでは利用しかねる（生活費が圧迫される）

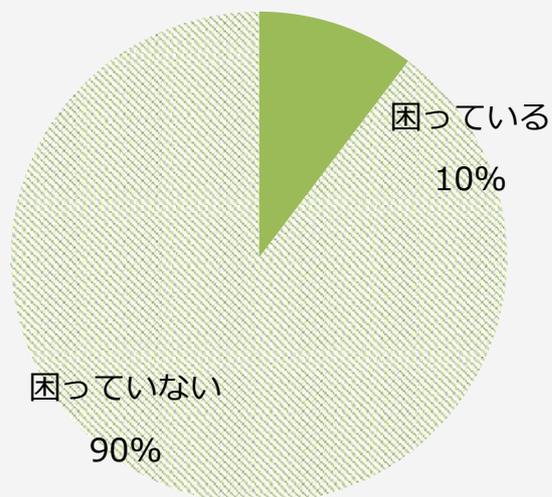


②谷川校区住民へのアンケート結果

(2) 企業シャトルBaaSは
今後も必要だと思いますか。



(3) 現在、移動手段に困っていますか。



(3-1) 移動手段に困っている理由 (一部抜粋)

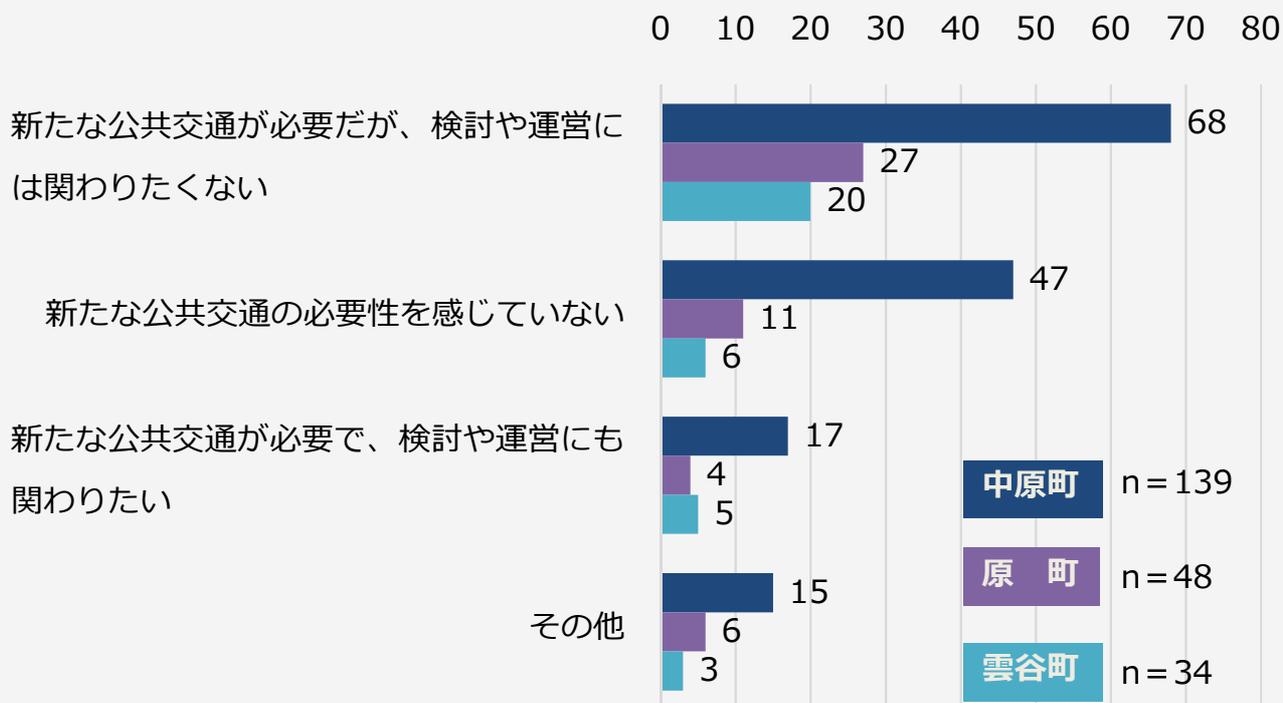
中原町	高齢で病院、買い物に不便
	公共交通の運行がないため
	鉄道の駅から遠い
	車がかえなくなったらどうして良いかわからない
	車に乗れないからタクシー利用しかできない。
原町	家族に頼みにくいから
	老老介護
	ガソリン代高騰のため
雲谷町	車以外の移動手段がない

BaaSを必要と感じている人は約60%で、中でも原町が一番高い約74%、中原町が約53%と一番低い。これは、現在のバス停位置などによる町ごとの利便性の差異とも考えられる。一方で、別の交通手段の必要性を感じている人は約20%いる。また、現在移動手段に困っていると感じる人は約10%にとどまっており、公共交通を使う生活を想定していない。

05. 地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

(4) 住民による新たな公共交通の導入を検討することについて、どう考えていますか。(複数回答者あり。町別)



◆その他意見 (一部抜粋)

中原町	福祉タクシーの導入
	今後は運転免許を持たない高齢者世帯は医療機関（病院）へのアクセスのための交通網が必要になってくる
	現在、移動手段に困っていませんが、いずれ必要になるときが来るため、新たな公共交通の必要性を感じます。検討や運営にかかわるとするなら定年後が理想的です（仕事の都合上）。
	二川方面のバスが欲しい
	高齢者になるにつけて総合病院にかかる必要があるが、病院が豊橋市の端にあり、行く方法が老人にはない。長年、税金を納めているのに何も考えてくれないのではないかと思います。
高齢社会や独身者などの方が移動の中でのコミュニケーションの場を持ち、孤独による死などによって命を落とすことのない地域ぐるみの要として公共交通を活用すべきだと感じている。	

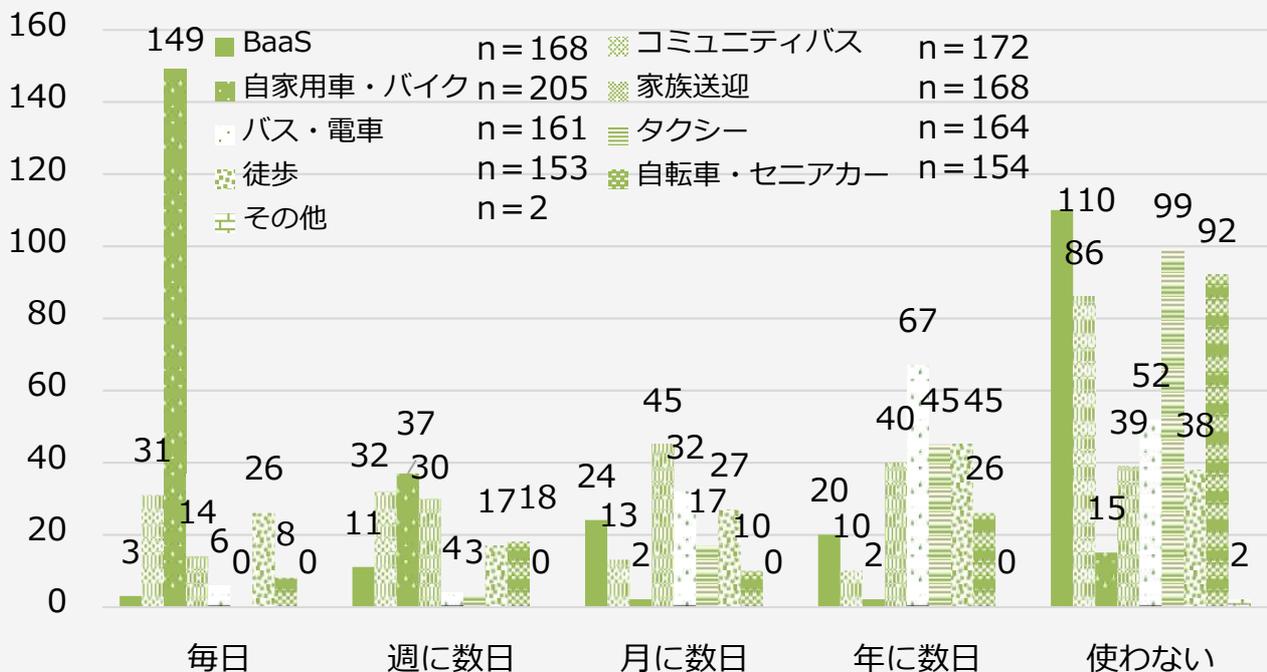


②谷川校区住民へのアンケート結果

◆その他意見（一部抜粋）

中原町	家事多忙の為ムリ。BaaSが湖西方面であるのでコミュニティバスは特に二川駅周辺までの停留所を運営してもらえるとありがたい。
	ウーバー(Uber)を取り入れる
原町	独居老人には必要と思うが、地域にどれだけいるかわからない
	シンフォニア行き豊鉄バスを原町、中原町へJR新所原駅経由で運行できないか。
	運営となると少し荷が重い
	ボランティアタクシー育成？
雲谷町	会合場所に行く方法がない
	必要かつかわかってもらってもよいが、知識・理解に乏しいので難しい。

(5) 今後について、希望する、また予定している移動手段と頻度

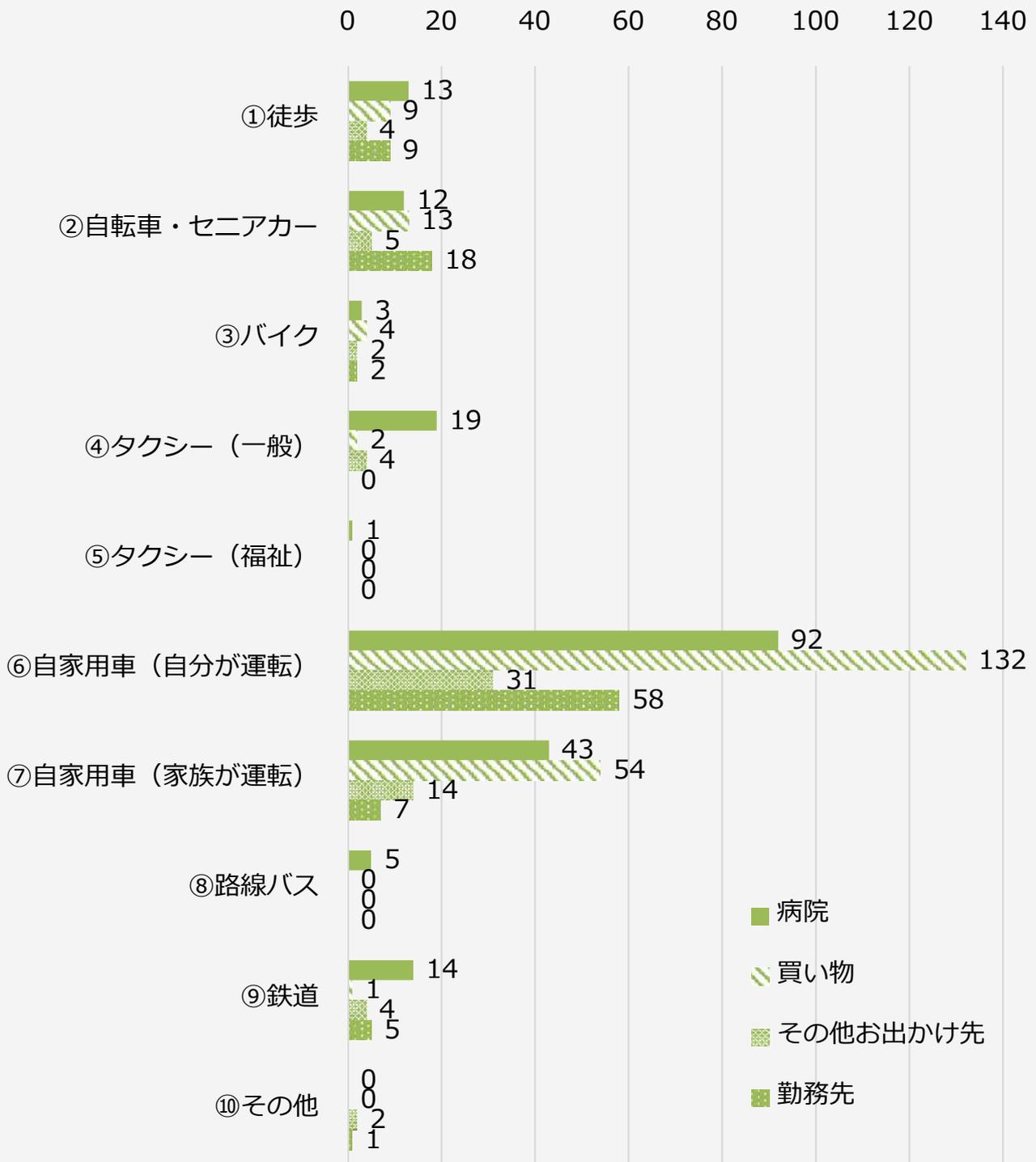


新たな公共交通を必要と感じつつも、地元運営のコミバスを運行するにはハードルが高いと感じている。また、今後についてBaaSやコミバス、バス、電車、タクシーなどの公共交通を「使わない」としている人が多い。

地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

(6) 普段のお出かけ時の移動手段



自分自身なり、家族なり、自家用車の移動が主である。
 将来の移動手段の想定が、今の移動手段とリンクしている模様。



②谷川校区住民へのアンケート結果

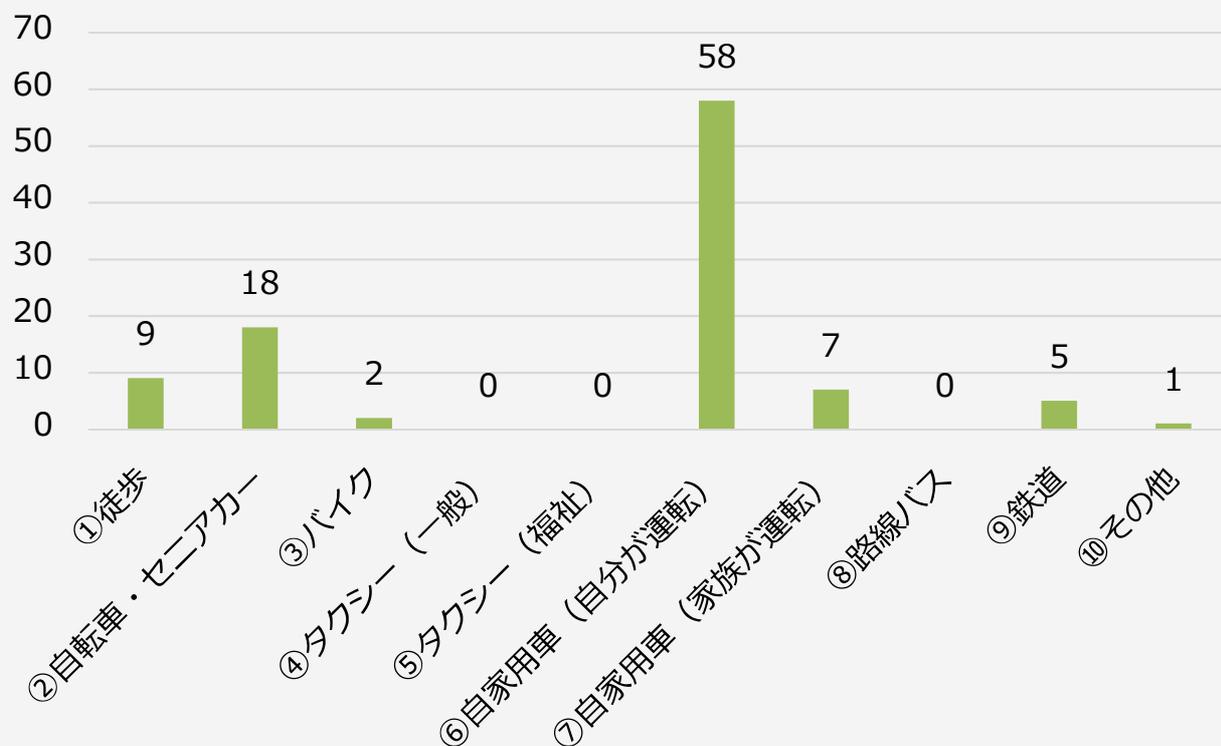
(6) 普段のお出かけ時の移動手段 ～通勤編～

勤務先名	人数
市内	5
デンソー	3
日東電工(株)	3
自営	2
原町	2
浜松市内	2
湖西	2
駅前	2

勤務先への外出時刻	人数
5時台	2
6時台	7
7時台	19
8時台	17
9時台	7
11時台	1
14時台	1
21時台	1

※ 2件以上あった勤務先名のみ記載

移動手段



勤務時間は7時～8時台、自家用車の利用が多数。

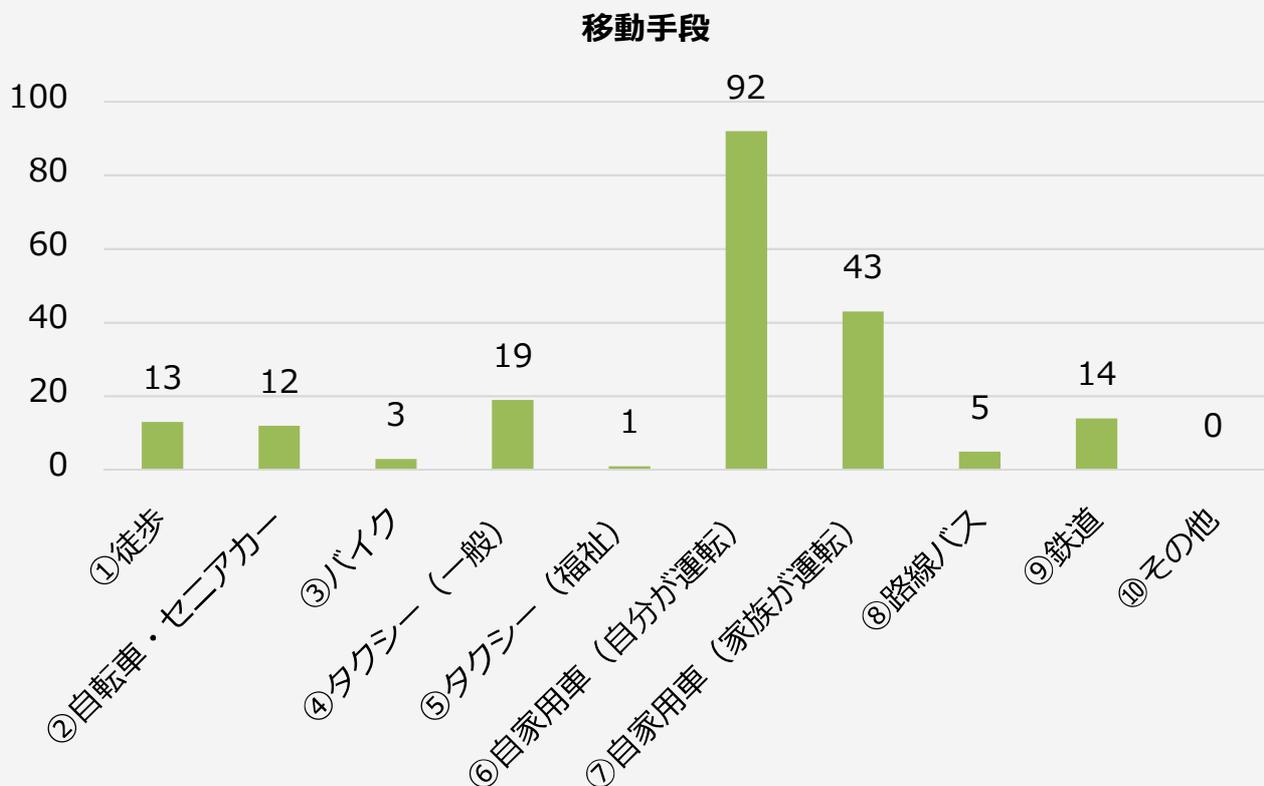
地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

(6) 普段のお出かけ時の移動手段 ～通院編～

病院名	人数	病院への外出時刻	人数	病院への外出時刻	人数
浜名病院	18	7時台	4	15時台	1
積善クリニック	17	8時台	20	16時台	3
豊橋医療センター	13	9時台	20	17時台	2
豊橋市民病院	10	10時台	17	不特定	2
二川 山本医院	10	11時台	5	午前中	1
二川病院	10	14時台	1	2か月に1回	1
新所原医院	7				
なかまち医院	5				

※ 5件以上あった病院名のみ記載



病院は、二川町方面が多数である。時間は午前集中している。

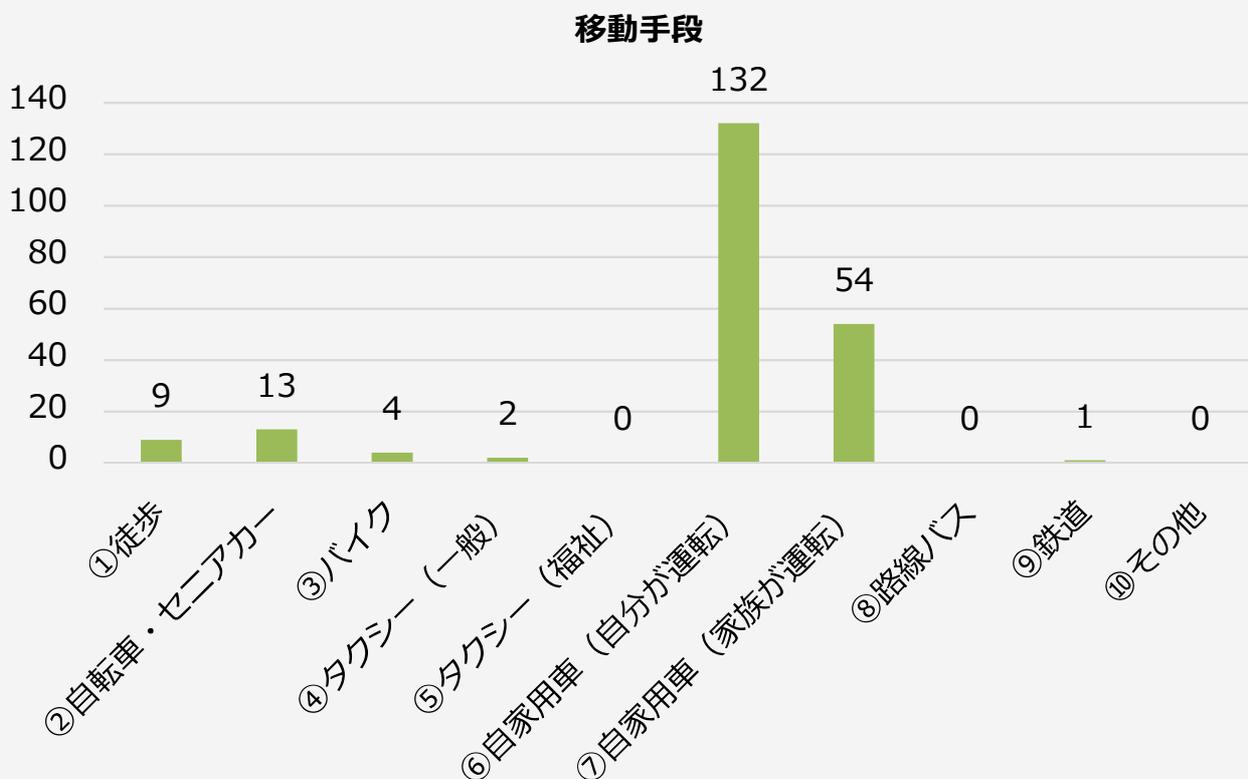


②谷川校区住民へのアンケート結果

(6) 普段のお出かけ時の移動手段 ～買い物編～

スーパー名	人数	買い物への外出時刻	人数	買い物への外出時刻	人数
JA豊橋Aコープ 産直プラザ二川	58	9時台	10	15時台	7
杏林堂新所原店	51	10時台	38	16時台	13
たつみストアー	47	11時台	13	17時台	9
パレマルシェ	31	12時台	3	18時台	2
ヤマナカ二川店	28	13時台	4	随時	3
クックマート	9	14時台	3	相手の都合	1
スギ薬局	8				

※ 8件以上あった施設名のみ記載



買い物は二川町、湖西市の両方面、時間は午前のほか夕方の需要もみられる。

05. 地域の受容性

②谷川校区住民へのアンケート結果

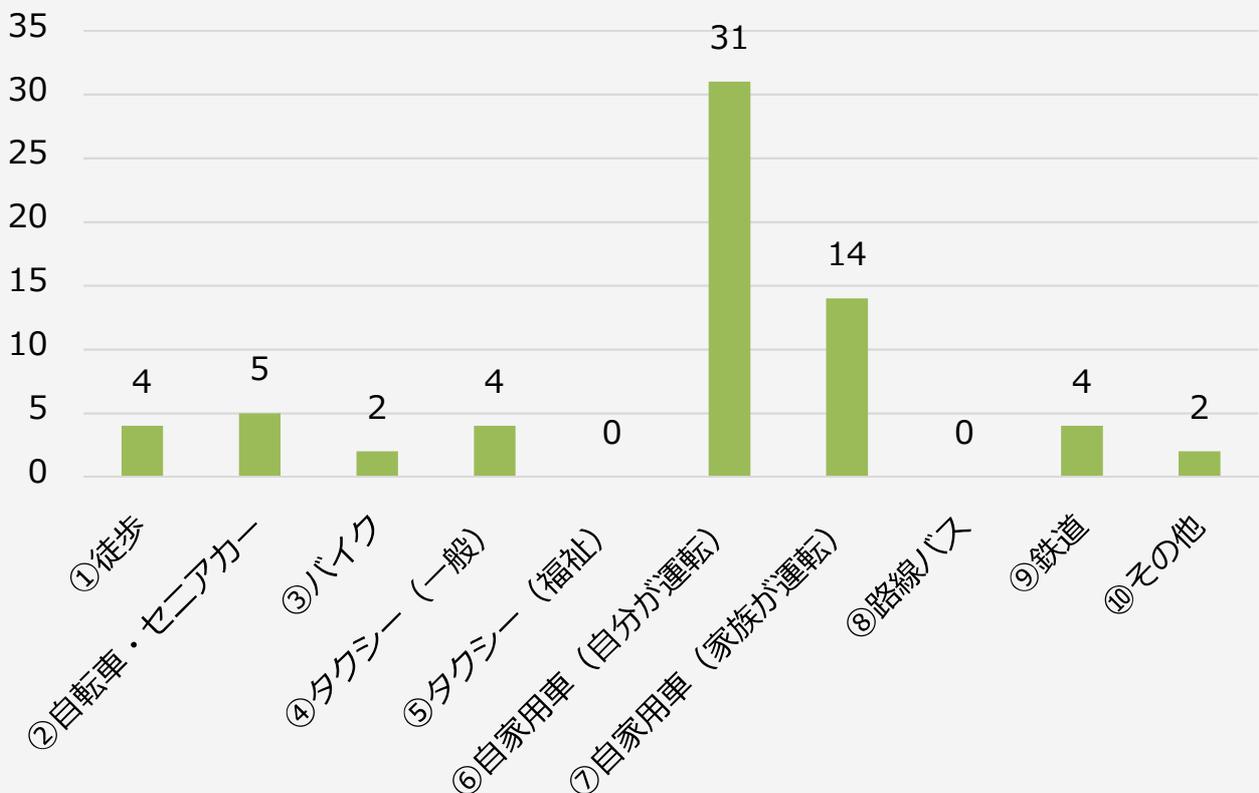
(6) 普段のお出かけ時の移動手段 ～その他お出かけ先編～

施設名	人数
銀行（豊信、浜信）	4
郵便局 （二川、新所原）	2
セブンイレブン	2

※ 2件以上あった施設名のみ記載

その他お出かけ先への外出時刻	人数	その他お出かけ先への外出時刻	人数
8時台	5	13時台	1
9時台	2	15時台	1
10時台	1	20時台	1
11時台	3	随時	2

移動手段



通勤、通院、買い物と比べて、移動手段は割れる。



(2) 交通事業者の受容性

交通事業者へのアンケートの実施

豊橋市内に営業所を置く交通事業者に対し、本実験による各社の利用者増減や収益状況への影響を調査するため、2月中にアンケートを実施した。



交通事業者へのアンケート結果

対象事業者：4社 配布数：4枚 回収数：4枚 回収率：100%

(1) 実験期間中の谷川校区における利用者数（乗降含む）の増減

項目	中原町	原町	雲谷町
A社	変わらない	変わらない	変わらない
B社	全期間通して 利用者が少なく判断 できない	全期間通して 利用者が少なく判断 できない	全期間通して 利用者が少なく判断 できない
C社	変わらない	変わらない	変わらない
D社	不明	不明	不明

(2) 谷川校区、湖西市に関する運転士の皆様からのご意見

項目	ご意見
A社	特にありません。
B社	未記入
C社	当社としてはあまり利用のないところであるので、利用客の増減は変わらない。
D社	未記入

05. 地域の受容性

交通事業者アンケート調査結果

(3) 実験全般に対するご意見・ご感想

項目	ご意見・ご感想
A社	特にありません。
B社	<p>タクシー利用に関しては、谷川校区及び、隣接する湖西市も含め企業が多く、出張者（企業⇔新所原駅間の移動）と高齢者（スーパー、病院、娯楽での移動）が多い。今回のBaaS社会実験に関しては、利用するために事前予約が必要であるため、出張者が利用するとは考えにくい。そのため、出張者のタクシー利用には影響はないと判断できるが、個人の利用に関しては判断が難しい。</p> <p>しかし、谷川校区の隣、二川地区では道幅も狭く、タクシーが生活の一部となっている地域であることは間違いないため、今後運行ルートで西側をカバーするとなると、タクシーへの影響は大きいものとなる。</p>
C社	タクシー会社としては、社会実験とはいえ、あまり好ましいものと思えませんが、通常の一般的に企業に関していえば、積極的にやっていってはどうかと思う。
D社	利用実績をみますと、8月9月は湖西市民の方の利用が多く、以降はほぼ豊橋市民という結果であると伺えます。さらには利用者は固定した一部の人と見受けられます。また、10月以降は一便あたり約0.2人？ではないかと思えます。今度も社会実験を継続とのことですが、継続か否かの判断の基準が明確であればいいと感じます。





交通事業者アンケート調査結果

(4) 谷川校区（原町、中原町、雲谷町）近辺の普段の利用状況

項目		駅への送迎利用	通院利用	買い物利用	その他	利用なし
A社		—	—	—	—	○
B社	行き先	二川駅、新所原駅	二川病院、浜名病院	ヤマナカ二川店、たつみストアー	遊戯関係	
	利用者	高齢者、出張者	高齢者	高齢者	高齢者	
C社	行き先	二川駅	二川病院、豊橋市民病院	ヤマナカ二川店、たつみストアー、パレマルシェ新所原店		
	利用者	高齢者	高齢者	高齢者		
D社		—	—	—	—	—

今年度のルートやダイヤ上では、交通事業者への影響は少ないといえる。

05. 地域の受容性

(3) 企業の受容性

デンソー従業員へのアンケートの実施

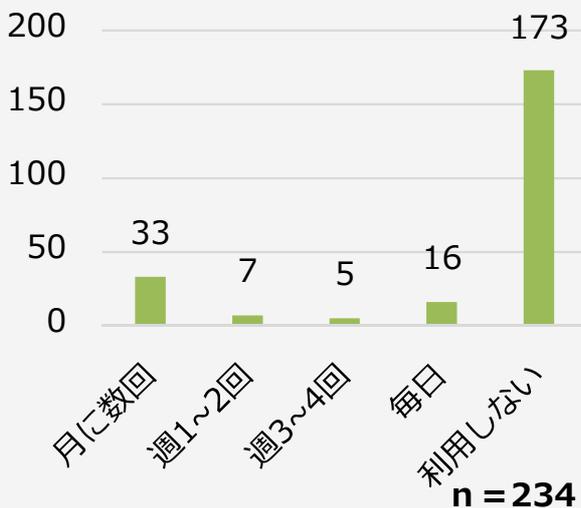
デンソー従業員に対し、実験終了後の2月以降、アンケートを実施した。



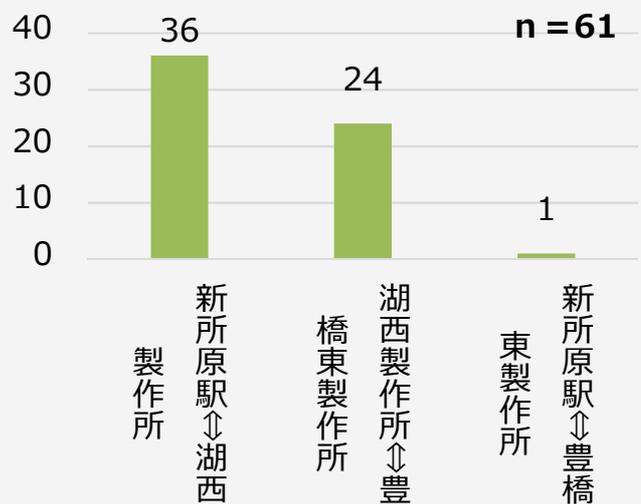
デンソー従業員へのアンケート結果

対象：デンソー湖西製作所・デンソー豊橋東製作所従業員
回答数：234人

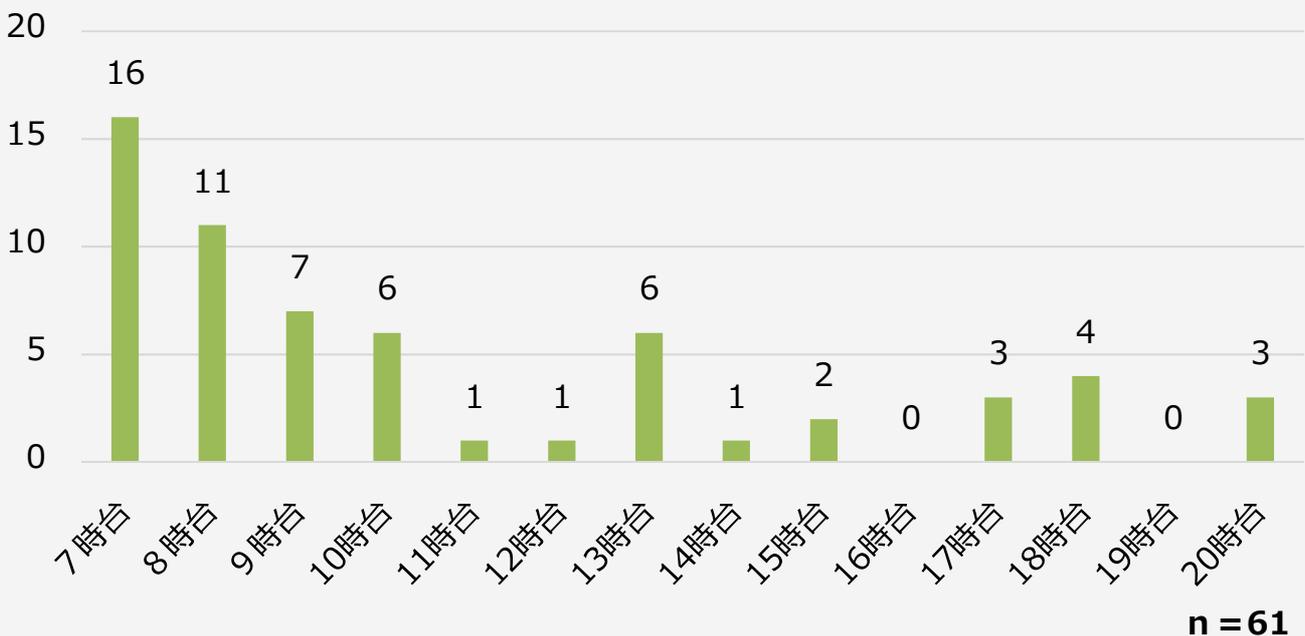
(1) 通勤・連絡バスの利用頻度



(2) 通勤・連絡バスの利用区間



(3) 通勤・連絡バスの利用時間帯

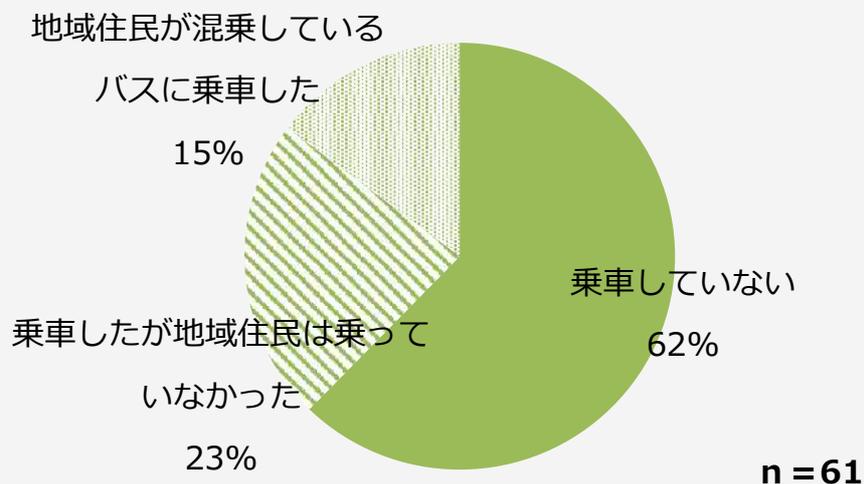


05. 地域の受容性

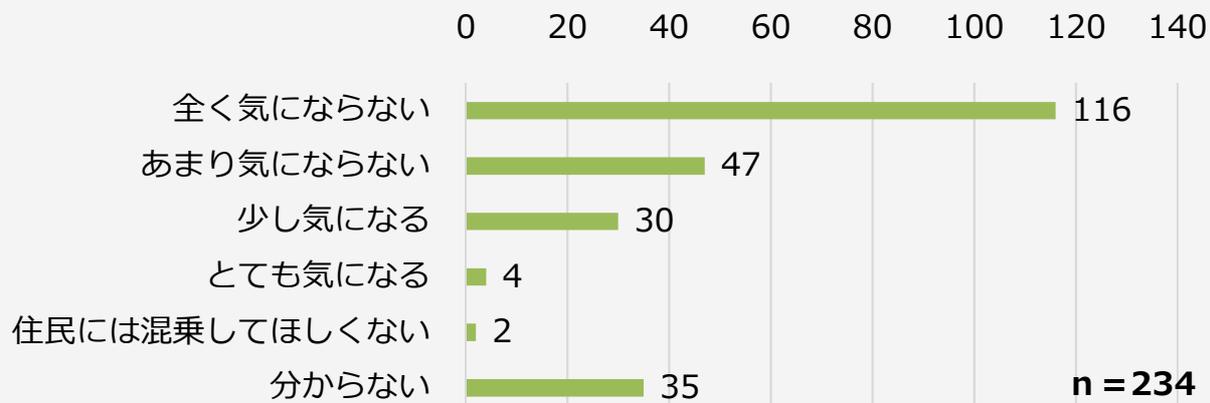


デンソー従業員へのアンケート結果

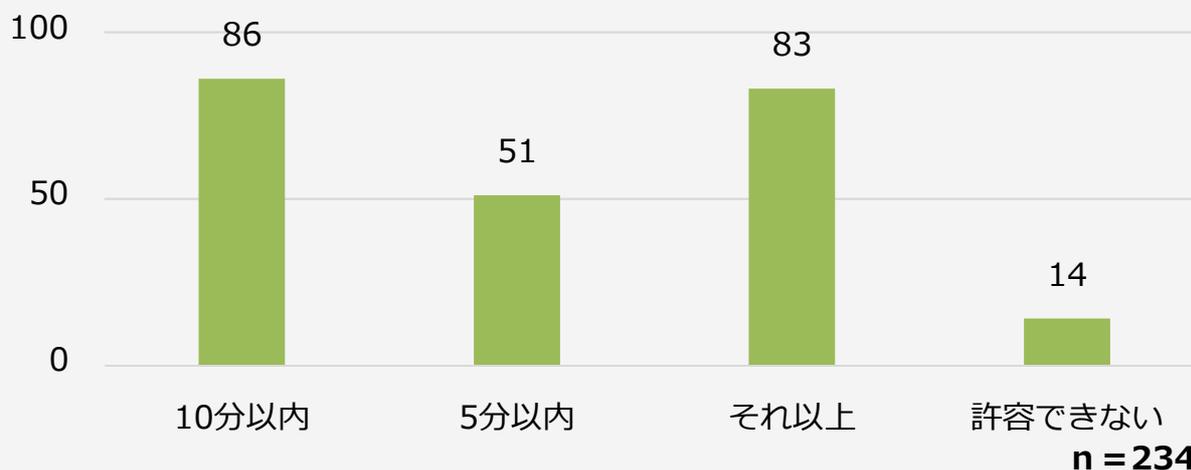
(4) 企業シャトルBaaSの乗車の有無



(5) 混乗への抵抗感



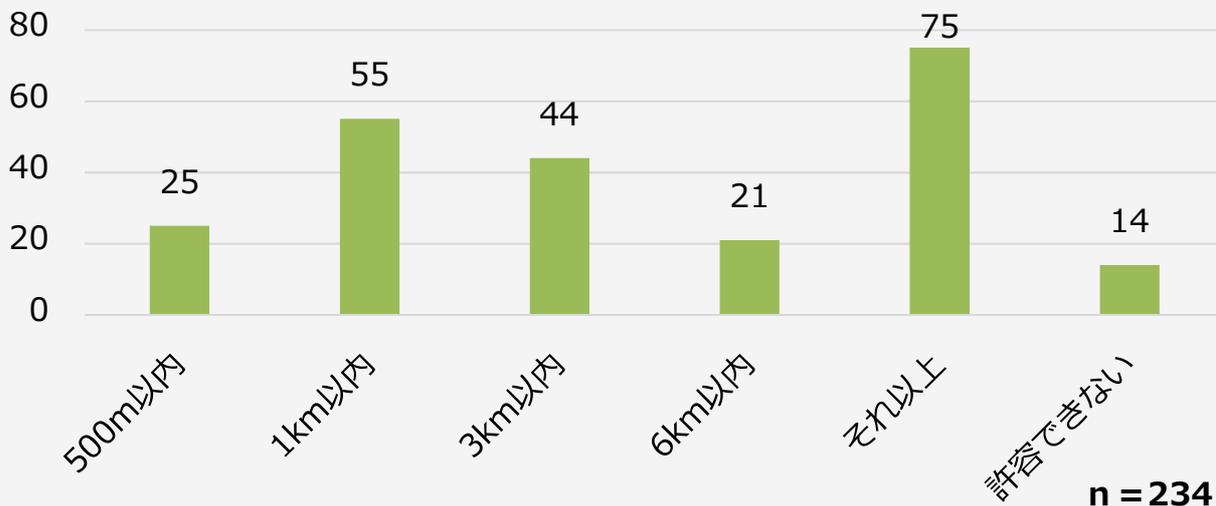
(6) 混乗の場合の許容できる延長時間



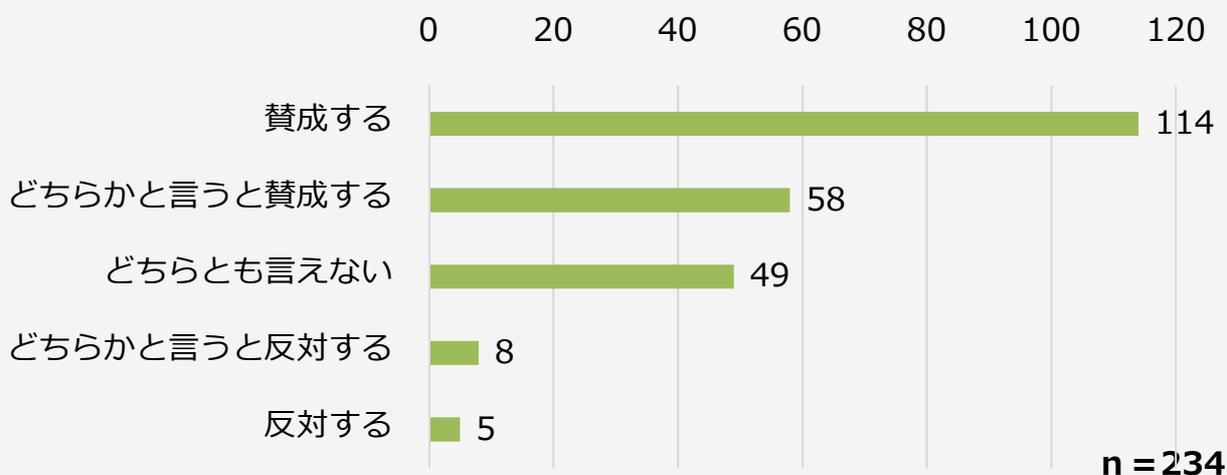
05. 地域の受容性

デンソー従業員へのアンケート結果

(7) 混乗の場合の許容できる延長距離



(8) BaaS定常化への総合的な賛否



(9) 問8「総合的な賛否」の回答理由（一部抜粋）

項目	意見	
賛成する	地域貢献のため	地球に優しいから
	企業と地域の共生の為	バスを有効に活用できるのはいいと思います
	高齢者の助けになると思う	混雑しなければ問題と思わない



05. 地域の受容性

デンソー従業員へのアンケート結果

(9) 問8「総合的な賛否」の回答理由（一部抜粋）

項目	意見	
どちらかと言うと賛成	地域の交通手段が少ないから	困っていればお互い様だから。
	コロナ禍でなければ諸手を挙げて賛成です。	自分に対してデメリットが見当たらないため
	賛同するが、大回りしているので到着が遅れるため、ルートを再検討して頂きたい。	免許証返納した人や移動手段がない人にとっては手軽に乗れていいと思います。
どちらとも言えない	地域住民と混乗する事で何らかの問題があるかもしれないから	地域貢献は大事だと思いますが、本当にニーズがあるのかも疑問
	まだまだコロナが有るので、コロナがなくなったら良いと思います。	出社ギリギリの場合遅刻になってしまう。
	本当に地域貢献を目指すなら、障害者も乗れるようにした方がよい。	公共機関の時間に間に合うようにしてもらえればいい
どちらかと言うと反対	仕事の話をする事が出来ない	セキュリティ上の問題
	業務時間内の使用時遅れは他者に迷惑をかける	具体的に何では無いが、社会的問題が生じる不安懸念あり。
反対する	具体的に何では無いが、社会的問題が生じる不安懸念あり。	社外の人が利用すると社員で乗れない人が出てくる可能性があるため
	トラブルの回避	特にありません

概ね好意的な意見をいただいている。企業側の懸念点を踏まえつつ、利用者の声に寄り添えるよう次年度以降の運行内容の改正につなげていきたい。

06. 令和4年度まとめ

(1) 運用の課題

①登録・予約システム

登録・予約自体への抵抗が強い。

→(株)デンソー従業員の輸送が大前提であるため、一般客が乗車できないことがないよう予約制としている。回数券の販売状況を見ながら利用者数を予測するなどの方法で、協力を得られるようであれば、予約なしでの運行の可能性も検討したい。

②回数券・定期券の販売及び現金支払い

回数券等の販売場所の拡充を求める声が多い。また、回数券を持つことなく、車内での現金払いを要望する声が多い。

→湖西市や路線周辺の施設等と調整し、販売場所の選定を進める。また、車内で(株)デンソーに現金の取り扱いをしていただくことは現状難しく、今後も引き続き検討が必要である。



(2) 運行の課題

①バス停位置

各町公民館にバス停を設置したいとの要望が多数ある。

→公民館へ回るには、道幅が狭いうえ、現行ルートからかなり逸れる形になり、(株)デンソーの従業員の業務に支障が出るため、現段階では難しく、今後も検討が必要である。

②運行ダイヤ

午前便だけでなく、午後便の追加も声として多い。

→(株)デンソー従業員の利用が少ない午前の時間帯にダイヤを設けたが、通院や買い物時間として利用の多い午後の時間帯の追加も考えていきたい。



(3) その他の課題

①評価指標の策定

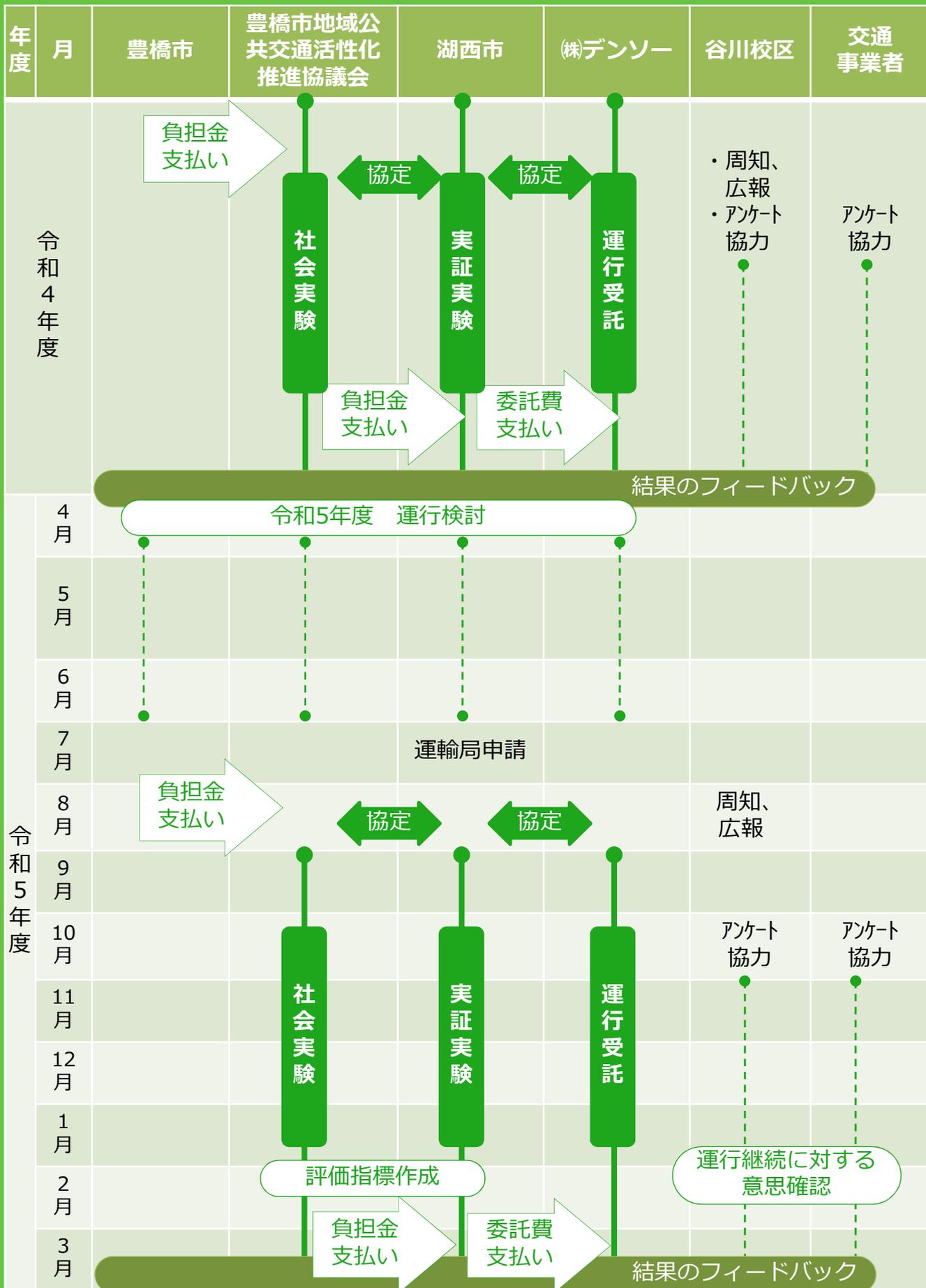
本市のコミュニティバスの継続基準やBaaSの利用者数等を鑑みながら、本実験終了後に実証運行へ移行する際の評価指標を検討する。

②谷川校区の今後の移動手段

自動車依存が高い地元に対し、BaaSに限らず公共交通全体の利用促進や使い方の周知を継続的に図っていくことが重要。



07. 今後の予定



Schedule

連絡先

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会
事務局

豊橋市 都市計画部 都市交通課
愛知県豊橋市今橋町1番地

0532-51-2620

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/50704.htm>

toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp